

地域活性化へ連携探る

生協やJA「協同組合」テーマに集い



荒井聡座長の講演に耳を傾ける協同組合の職員ら
＝岐阜市湊町、ホテルパーク

県内の生協やJAグループなど5団体でつくる県協同組合間提携推進協議会は1日、岐阜市湊町のホテルパークで「協同組合を考える集い」を開いた。傘下、協議会はJA岐阜中央会、全県生活協同組合連合会など組織。集いは国際協同組合デー(2日)にちなんで開く研修会で、県内の協同組合から約120人が参加した。協議会幹事会座長の

荒井聡岐阜大教授が、生協がJAや森林組合と共同で産地と消費者が交流する米作りや植樹などのイベントを開いたり、酪農農業協同組合と手を携えてこだわりの牛乳を扱ったりする事例を紹介。「連携の強化で、地域課題への対応力を高められる」と強調した。

県森林組合連合会の加藤未夏技師は、中津川市苗木地区での間伐などを通じて発行したクレジットを企業などに販売して、環境教育や森林保全を進めるカーボンオフセットの事業を紹介した。

(小森直人)